

2019形質転換植物デザイン研究拠点 共同利用・共同研究課題一覧(全31件)

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名	課題番号
1	梅原 三貴久	東洋大学 生命科学部応用生物科学科	ストリゴラクトン輸送体が欠損したマイクロトムの作出	19基礎A-1
2	古本 強	龍谷大学 農学部植物生命科学科	PIF4による低温シグナル伝達経路調節のメカニズム解析	19基礎A-2
3	Mike Thomashow	Michigan State Univ	Chromatin-mediated cross talk between long term low temperature responses and immunity	19基礎A-3
4	榊原 恵子	立教大学 理学部生命理学科	貧窒素土壌における陸上植物の適応戦略に関する基礎研究	19基礎A-4
5	丸山 明子	九州大学 農学研究院	硫黄栄養の感知から硫黄同化系の調節にいたる過程で働く新規情報伝達因子の探索と機能解析	19基礎A-5
6	野元 美佳	名古屋大学 遺伝子実験施設	サリチル酸シグナルの主要制御因子であるNPR1が標的とする新規転写因子の探索	19基礎A-6
7	竹田 恵美	大阪府立大学 大学院理学系研究科	機能性カロテノイド高生産を可能とする生合成酵素遺伝子機能の検証	19基礎A-7
8	佐治 光	国立研究開発法人国立環境研究所 生物・生態系環境センター	植物にオゾン耐性を付与する遺伝子の機能解明	19基礎A-8
9	北島 佐紀人	京都工芸繊維大学 応用生物学系	植物の乳液に含まれる機能未知タンパク質群の生体防御機能と育種への利用に関する基礎研究	19基礎A-9
10	川勝 泰二	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門	ミヤコグサ根粒を用いた有用物質生産プラットフォーム開発に向けた基盤研究	19基礎A-10
11	工藤 洋	京都大学 生態学研究センター	アブラナ科多年生草本の春化応答の比較分子生態学	19基礎A-11
12	鈴木 義人	茨城大学 農学部	サツマイモ育種用接ぎ木台であるキダチアサガオの特性解析	19実験A-12
13	Cornelius Barry	Department of Horticulture, Michigan State University	Utilizing the Tsukuba TILLING platform to investigate the evolution of catalytic promiscuity of UDP-Glucosyltransferases	19実験A-13
14	早間 良輔	国際基督教大学 自然科学デパートメント	アンチフロリゲンによるトマトの花成・結実期をコントロールする遺伝的機構の解明	19実験A-14
15	伊 永根	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	トマト果実への糖転流様式の解明のための形質転換交配系統の作出	19実験A-15
16	金岡 雅浩	名古屋大学 大学院理学研究科	トマトの受精に関わる遺伝子の探索	19実験A-16
17	伊藤 瑛海	国際基督教大学 自然科学デパートメント	トマト形態形成とストレス応答に対するRAB7遺伝子の役割の解明	19実験A-17
18	久保 健一	東京大学 農学生命科学研究科	植物の生殖関連形質の制御に関わる遺伝子の機能解析	19形技A-18
19	吉田 聡子	奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構	ハマウツボ科寄生植物の安定的形質転換法の確立	19形技A-19
20	加藤 幸成	東北大学 大学院医学系研究科	植物におけるタンパク質大量発現「つくばシステム」を用いたタグ抗体生産技術の確立	19形技A-20
21	野村 崇人	宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター	ストリゴラクトン大量発現系の確立による根寄生雑草の駆除	19形技A-21
22	佐々木 伸大	東洋大学 食環境科学部食環境科学科	ベタレイン色素合成経路の導入によるアサガオの新規花色の分子育種	19形技A-22

23	本橋 令子	静岡大学 学術院農学領域	遺伝子組換えによるジャトロファの種子大型化	19形質A-23
24	児嶋 長次郎	横浜国立大学 大学院工学研究院	成長相転換制御化合物によるジャガイモ収量増大への試み	19形質A-24
25	坂本 悠	長崎県農林技術開発センター	パレイショ近縁種からの環境ストレス耐性形質導入	19形質A-25
26	田岡 健一郎	横浜国立大学 木原生物学研究所	フロリゲンによるジャガイモ塊茎形成制御の分子機構の解析	19形質A-26
27	中野 雄司	京都大学 大学院生命科学研究所	ブラスチノステロイド情報伝達遺伝子形質転換サトウキビのベトナム網室及び圃場における試験栽培	19形質A-27
28	出村 拓	奈良先端科学技術大学院大学	遺伝子組換えポプラの隔離ほ場試験	19形質A-28
29	房 相佑	宇都宮大学 農学部	遺伝子組換えナタネの遺伝子拡散リスク評価に用いるマーカープラントの作出	19リスクA-29
30	間 竜太郎	農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門	遺伝子組換え青色キクの実用化に向けた生物多様性影響評価における形質転換植物評価技術に関する研究	19リスクA-30
31	中嶋 信美	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター	生物多様性影響評価の基盤となるアサガオゲノム中のT-DNA配列の解析手法の開発	19リスクA-31